



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和3年度 第9号 7月15日



もうすぐ夏休み！

今年も中庭にヒマワリが咲きました。その明るい色合いやグッと上を向いて咲く凛とした姿を見ていると自然に元気が出てきます。梅雨が終われば、本格的な夏を迎えます。今年の1学期も新型コロナウイルス感染症のため、参観日や運動会など、予定通りに実施できないものもありましたが、昨年に比べると、子どもたちも教職員も落ち着いて学校生活を送ることができたと思っています。保護者の皆様や地域の皆様の、本校教育活動に対するご理解とご協力のおかげです。ありがとうございました。もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。岡山県や岡山市では新型コロナウイルス感染症の新規感染者数がずいぶん少なくなってきましたが、油断は禁物です。夏休み中、子どもたちが健康で楽しく過ごせますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。元気な子どもたちに2学期始業式で会うのを楽しみにしています。

聖火トーチ校内リレー

6月28日～7月2日まで、名木田さんにお借りした聖火トーチが各クラスを巡りました。担任の先生と一緒に持ったり、中をのぞいたり、聖火トーチを持って写真を撮ったりなど、思い思いに聖火トーチとふれあいました。一生に一度しかない貴重な経験をすることができました。



聖火リレーの絵を校内に飾りました

175人の子どもたちが描いた聖火リレーの絵を職員室近くの廊下に掲示しました。自分の絵を探す子、友達の色を見に来た子、たくさんの子も訪れました。



今度はお家で

1学期の間、1年生はアサガオ、2年生はミニトマトのお世話をととてもよくがんばりました。夏休みはお家に持ち帰ります。子どもたちが毎日続けてお世話ができるよう、声掛けをお願いします。



きれいに咲いています

南棟と運動場の間にある花壇に、色とりどりの花がきれいに咲いています。これは栽培委員が植えたもので、水やりや草抜き、花がら摘みなどしっかりお世話をしています。



あいさつリーダー

3年前から取り組んでいる「あいさつリーダーチャレンジ」に、今年も多くの子も挑戦しています。あいさつ運動を50日間達成した子どもに「あいさつリーダー証」を渡しています。現在、

- ・緑色（50日達成）…115人
- ・黄色（100日達成）…25人
- ・水色（150日達成）…28人
- ・桃色（200日達成）…7人
- ・橙色（250日達成）…4人

の子もたちがリーダーになっていて、名札の裏に「あいさつリーダー証」を入れて登校しています。声をかけていただくと励みになります。よろしくお願ひします。



5年生出前授業

三菱自動車の方をお招きし、自動車の作り方について学びました。1台の自動車を作るのに、16時間の作業時間が必要なことや部品が4万個使用されていることなどを教えてもらいました。また、ネジを種類別に分けたり、ネジを電動ドライバーで締めたりする自動車の組み立て体験もできました。



学校長のつぶやき ～夏休みの思い出3～

【暑さ対策】私が小学生の頃は夏でも今ほど気温が高くはありませんでした。夏休みに気温が35℃になったことがあり、びっくりしました。その日、アスファルトの道の上にモヤモヤしたもの（陽炎）ができていたのも覚えてます。今では35℃は当たり前ですね。そのころ我が家にはエアコンがなく、涼しく過ごすためのグッズといえば、扇風機と団扇ぐらいでした。扇風機の後ろ側に濡れタオルをかけると涼しくなるといってやってみましたが、音がうるさいだけで少しも涼しくありませんでした。勉強をするのに少しでも涼しい場所はないかと家の中を探した結果、たどり着いたのが風呂場。浴槽に少し水を溜め、その中に足をつけながら、お風呂のふたを机代わりにして勉強をしてみました。足元がひんやりとして気持ちよかったです。あまり集中することができず、結局、自分の部屋に戻りました。

【ラジオ体操】夏休みと言えば、ラジオ体操。今では、夏休みの始まりと終わりの数日間だけという地域が多いようですが、私の地域では夏休みの間毎日あったように思います。6時30分、「あ～た～らし～い～あ～さがきた、き～ほ～うの～あ～さ～だ・・・」という歌のあと、ラジオ体操第1と第2をしますが、第2の方はうる覚えで、周りをキョロキョロ見ながら見よう見まねでやっていました。夏休みの宿題の一つに「ラジオ体操カード」というのがあって、毎日出席し、スタンプを押してもらったカードを2学期始業式の日に持って行ってました。お盆などで田舎に泊まるときもカードを持って行き、そこでスタンプを押してもらってました。町内の子供会からもらった皆勤賞（毎日出席するともらえる賞）はノートや鉛筆など学用品でした。

【宿題】1学期の終わりごろ、担任の先生から夏休み計画表が配られ、いつどの宿題をするか計画を立てました。毎年、最初の1週間か十日ぐらいで宿題をすべて終わらせる計画を立てていましたが、一度も実現したことはありません。そればかりか、夏休みの最後の日まで、ひどい年は始業式当日の朝まで宿題をしていたこともありました。「苦あれば楽あり」ではなく、「楽あれば苦あり」の少年だったのです。（今はもちろん計画的に仕事をしています。）宿題の量は今とそれほど変わっていないと思いますが、必ず取り組む課題として「自由研究」というものがあり、それが一番大変でした。自分で研究テーマを決めて、実験や観察をし、発表に向けて資料を作ったり原稿を書いたりするのですが、「何を研究するか」がなかなか思いつかず、毎年苦労していました。覚えているのは、『カビの研究』（温度や湿度、素材によってカビの生え方にどのような違いがあるか。）『土の中の虫調べ』（公園、田、山など場所によって土の中の虫の種類や数にどのような違いがあるか。）『交通量調べ』（曜日や時間帯などによって、通行する車の種類や台数にどのような違いや特徴があるか。）です。自由研究は時間のかかる大変な宿題でしたが、その分達成感も大きかったですね。長いお休みがなければ取り組めない課題です。鹿田小学校の子どもたちにも、ぜひ取り組んでもらいたいと思います。

